

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会 令和3年度事業報告（案）

情報発信事業

1. 国内向けプロモーション活動

麒麟のまち圏域の魅力を国内に向けて発信するため、全国版旅行雑誌に日本遺産ストーリーほか麒麟獅子舞などを紹介する記事を掲載。KK ベストセラーズ社が発行する「一人」秋号（令和3年10月1日発行）に日本遺産「麒麟のまち」の情報を掲載。

2. インバウンド向けプロモーション活動

麒麟のまち圏域の魅力を国外に向けて発信するため、令和3年2月に台湾国内で公開された鳥取市のPRホームページ内に日本遺産「麒麟のまち」のページを制作し、日本遺産及び麒麟獅子舞、麒麟のまち圏域の魅力を発信。令和3年12月3日にホームページを公開済み。ホームページを周知するチラシ、ポスターは12月27日完成済み。

欧米を対象とするインバウンド向けプロモーション事業としては、外国人旅行者が日本遺産・麒麟のまちを巡り、麒麟獅子舞や構成文化財を解説する動画を制作し、Youtubeで配信し、広く情報発信。1月末に納品・配信予定。

普及啓発事業

3. 麒麟獅子舞の観光体験プログラム構築

個人観光客の誘客や旅行会社による商品造成につなげるため、保存会、高校、観光施設等と連携し、麒麟獅子舞の披露&ワークショップの定期プログラムを構築。

因幡麒麟獅子舞の会や但馬地域麒麟獅子舞保存会の協力のもと、仁風閣（鳥取市）をはじめ麒麟のまち圏域の文化・観光施設で16回実施。延べ1,253人が観覧。観覧者を対象に鉦や太鼓を実際に叩く体験を実施。

4. 麒麟獅子舞の保存継承プログラム構築

担い手を発掘・育成するため、保存会、高校、観光施設等と連携し、子ども向けの麒麟獅子舞の披露&ワークショップの定期プログラムを構築。

因幡麒麟獅子舞保存会や智頭農林高校、浜坂高校の協力のもと、新温泉町の浜坂多目的集会施設などで3回実施。延べ29人の子ども達が参加。

5. デジタルスタンプラリー「日本遺産・麒麟のまちゆかりのスポットを巡る」実施

日本遺産でつながる新たな観光周遊ルートを構築するため、日本遺産・麒麟のまち圏域や麒麟獅子舞ゆかりのスポットなどを巡るデジタルスタンプラリーを令和3年5月1日から10月31日まで実施。参加者1,389人、賞品応募者151人。

6. 周遊ルート開発のためのモニターツアーの実施（旅行会社・マスコミ対象）

麒麟のまち圏域の魅力発信や旅行商品の造成につなげるため、旅行会社・マスコミ向けのモニターツアーを12月1日に実施。旅行会社の担当者8人および、ガイド育成の一環として麒麟のまち日本遺産塾の受講生6人が参加。

7. その他

①圏域内外でのPR活動

麒麟のまち圏域の魅力を発信するため、文化庁・日本遺産連盟が主催する「日本遺産フェスティバル in 小松」をはじめ、圏域内外でのイベント等に参加。また、新日本海新聞社との共催により、令和4年1月8日～28日まで「但馬・因幡をつなぐ日本遺産麒麟獅

子舞展」を新日本海新聞社但馬支社において実施。

②グッズ制作（麒麟獅子マスク）

③日本遺産連盟への参画

④協議会の事務局運営

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会 令和3年度取組状況

日本遺産認定文「ストーリー」

浦富海岸 [新栄町]
 浦富海岸は、日本遺産認定文「ストーリー」の1つとして、2019年11月に認定された。この認定は、浦富海岸の自然美と、その周辺地域の歴史・文化の魅力を、国内外に広く発信する上で重要な役割を果たしている。

全部鉄橋「空の駅」 [新栄町]
 1912年建設の鉄橋で、史料は第一級の鉄トレスル橋梁。2019年に起存の全部橋梁にリニューアル。旧施設は「空の駅」として復活。旧鉄橋下は公園施設に。「風が骨を渡る橋梁」。

石谷家住宅 [新栄町]
 止林荘家によって築かれた旧家の邸宅。四重文・300坪の敷地に40余りの部屋と7棟の蔵。部屋を全壊する。当の石谷利貞が家督を継ぎ、近世・近代の建築様式の併存する建築物として評価される。「風が骨を渡る橋梁」。

若桜鉄道 [新栄町]
 1899年に開通した鉄道で、現在も木造の駅舎や列車が運行している。新栄町の中心地である。この鉄道は、新栄町の歴史・文化を伝える上で重要な役割を果たしている。

因幡 但馬
 鳥取県 新栄町 八雲町 新栄町 鳥取県 八雲町 新栄町 鳥取県 八雲町 新栄町

鳥取県・兵庫県

因幡・但馬に伝わる伝統の舞い
 新栄町の舞い「新獅子舞」は、人々に勇気を与え、心を豊かにする。この舞いは、新栄町の歴史・文化を伝える上で重要な役割を果たしている。



「一個人掲載記事」

日本遺産 麒麟のまち

探索・文化財

新獅子舞

新獅子舞は、新栄町の歴史・文化を伝える上で重要な役割を果たしている。

STORY

新獅子舞は、新栄町の歴史・文化を伝える上で重要な役割を果たしている。

風所孕育之賞賜

新獅子舞は、新栄町の歴史・文化を伝える上で重要な役割を果たしている。

台湾国内向けホームページ制作



麒麟獅子舞体験体感プログラム



麒麟獅子保存継承ワークショップ



日本遺産「麒麟のまち」デジタルスタンプラリー



日本遺産「麒麟のまち」モニターツアー



日本遺産サミット in 小松



但馬・因幡をつなぐ日本遺産麒麟獅子舞展

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会
令和3年度収支決算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区 分	金 額	決算見込額	差 額	備 考
国補助金 ※②は補助率 2/3 で算定	11,005,000	9,864,434	▲1,140,566	文化庁補助金①5,738,434 円 文化庁補助金②4,126,000 円
市町負担金	4,000,000	4,000,000	0	鳥取市 3,400 千円 岩美町 100 千円 若桜町 100 千円 智頭町 100 千円 八頭町 100 千円 香美町 100 千円 新温泉町 100 千円
前年度繰越金	2,727,588	2,727,588	0	
合 計	17,732,588	16,592,022	▲1,140,566	

2 支出の部

（単位：円）

区 分	金 額	決算見込額	差 額	備 考
情報発信事業	6,191,000	6,190,250	▲750	
①国内誘客用プロモーション事業	3,190,000	3,190,000	0	国内向け雑誌に日本遺産及び麒麟獅子舞の情報を掲載 ②補助率 2/3
②インバウンド向けプロモーション活動	2,999,000	2,999,700	700	外国人向けサイト、PR 動画の制作 ②補助率 2/3
③振込手数料	2,000	550	▲1,450	
普及啓発事業	5,892,900	5,028,989	▲863,911	
①麒麟獅子舞の観光体験プログラム化	1,599,700	1,349,600	▲250,100	保存会等謝金、チラシ印刷等 ①補助率 10/10
②麒麟獅子舞の保存継承に向けたワークショップ	919,700	733,405	▲186,295	保存会等謝金、パネル等制作等 ①補助率 10/10
③デジタルスタンプラリー開催	2,392,500	2,392,500	0	デジタルスタンプラリー開催費等 ①補助率 10/10
④モニターツアーの実施	973,000	548,204	▲424,796	旅行会社向けモニターツアー ①補助率 10/10
⑤振込手数料	8,000	5,280	▲2,740	
その他	1,000,000	709,445	▲290,555	
①日本遺産サミット等文化庁イベントPR	1,000,000	709,445	▲290,555	旅費、消耗品等 ①補助率 10/10
プロモーション費・その他管理費	4,648,688	3,181,831	▲1,224,857	プロモーション、HP 管理、デジタルスタンプラリー賞品代及び送料、モニターツアー補助対象外補填など
合 計	17,732,588	15,110,515	▲2,622,073	

※令和3年度収入 16,592,022 円-支出 15,110,515 円=1,481,507 円

次年度 1,481,507 円を繰り越し

※文化庁からの指示により決算額が変更になる可能性があります。

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会 令和4年度日本遺産事業計画（案）

令和元年5月、麒麟獅子舞をはじめとする麒麟のまち圏域の文化財で構成するストーリーが日本遺産に認定されたことを受け、事業推進組織として麒麟のまち観光局内に行政・観光関係者で構成する日本遺産「麒麟のまち」推進協議会（以下協議会）を設立。国や1市6町の財政支援を受けつつ、情報発信、普及啓発、人材育成、受入環境整備などの事業を推進してきた。

これまで、協議会を中心に情報発信などの取組を積極的に展開する中で、講演や麒麟獅子舞披露の依頼、各種メディアからの取材申込なども多く寄せられるなど、日本遺産や構成文化財に対する圏域内外の関心や認知度は高まってきている。

また、企業や団体などが主体となり、日本遺産や構成文化財に関連した事業企画や商品開発といった新たな取組も行われるなど、日本遺産認定を個々の活動や地域の活性化に生かそうとする機運も高まってきている。

一方で国（文化庁）は、これまで日本遺産認定を受けた地域において、国の重点支援期間（3年間）終了後の取組に温度差があることを問題視したうえで、令和3年度において、認定地域の取組状況に対するフォローアップの強化、「重点支援地域」や「候補地域」の新設、認定取消し制度の導入などを内容とする制度改定を実施するに至った。

協議会としても、令和3年度をもって重点支援期間が終了し、令和4年度から自立・自走期間（3年間）に移行することから、これまでの取組の成果・課題等を踏まえつつ、令和7年度に予定されている認定継続に係る審査に向けて、引き続き、連携強化をし、取り組みを推進する。

情報発信事業

1.日本遺産「麒麟のまち」ホームページの運営

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会のホームページの保守管理を引き続き、株式会社日本海プラザ（VZONE）に依頼し、ホームページの適切な運営を図る。

商品造成事業

2.麒麟獅子舞の体験体感プログラムの実施【8回～10回】

観光客の誘客や旅行会社による商品造成につなげるため、保存会、高校、観光施設等と連携し、麒麟獅子舞の披露&ワークショップの定期プログラムを構築する。

麒麟のまち圏域の観光・文化施設で定期的を開催していく。

3.日本遺産「麒麟のまち」モニターツアーの実施

日本遺産の魅力や旅行商品の造成を図るため、令和3年度に実施したモニターツアーでの提案等を参考にしたモニターツアーを実施。

4.日本遺産ガイド育成プログラムの実施

今後の日本遺産「麒麟のまち」旅行商品造成に向けた環境整備の一環として日本遺産ストーリーや麒麟獅子舞について解説ができるガイドを育成するため、麒麟のまち日本遺産塾の受講者や各市町の観光ガイドを中心に研修会や検討会を実施。

5.麒麟獅子フェスタの開催支援

圏域内外への情報発信による認知度向上や保存会同士の連携強化を目的として、麒麟獅子フェスタ2022実行委員会が実施する日本遺産・麒麟獅子フェスタ 2022（令和4年11月6日開催予定）に対する支援を実施。

普及啓発事業

6.麒麟獅子舞サポータークラブの集い

令和3年3月に設立した日本遺産・麒麟獅子舞サポータークラブ会員の連携強化のための交流会を実施。

7.麒麟獅子舞の保存継承プログラム構築【3回～4回】

麒麟獅子舞の担い手を発掘・育成するため、保存会、高校、観光施設等と連携し、子ども向けの麒麟獅子舞の披露&ワークショップを実施。

保存会、智頭農林高校（智頭町）、浜坂高校（新温泉町）と連携をして、令和3年度に引き続き、麒麟のまち圏域の子どもに向けたワークショップを実施

8.その他

- ・各種プロモーション活動

日本遺産サミット、日本遺産の日イベント等への参加

- ・各観光協会、構成文化財施設等との連携強化

各市町の観光協会や構成文化財に該当する施設等と連携を図り、日本遺産認定ストーリーや麒麟獅子舞の認知度の向上、日本遺産ストーリーを体感できる仕組みの構築を目指す。

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会
令和4年度収支予算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区 分	金 額	備 考
市町負担金	3,000,000	鳥取市 2,400千円
		岩美町 100千円
		若桜町 100千円
		智頭町 100千円
		八頭町 100千円
		香美町 100千円
		新温泉町 100千円
前年度繰越金	1,481,507	見込額
合 計	4,481,507	

2 支出の部

（単位：円）

区 分	金 額	備 考
情報発信事業	528,000	
①日本遺産「麒麟のまち」ホームページ保守 管理業務	528,000	
商品造成事業	2,002,750	
①麒麟獅子舞の体験体感プログラム	400,000	保存会等謝金
②日本遺産「麒麟のまち」モニターツアー	400,000	
③日本遺産ガイド育成プログラム	200,000	
④麒麟獅子フェスタの開催支援	1,000,000	
⑤振込手数料	2,750	
普及啓発事業	301,650	
①麒麟獅子舞サポータークラブの集い	150,000	会場借上料等
②麒麟獅子舞保存継承のプログラム構築	150,000	保存会等謝金等
③振込手数料	1,650	
その他	520,000	
①日本遺産サミット等文化庁イベントPR	500,000	旅費、消耗品等
②日本遺産連盟負担金	20,000	
プロモーション費・その他管理費	1,129,107	プロモーション、事務経費（振込手数料、通信運搬費）など
合 計	4,481,507	